

保護者の皆様

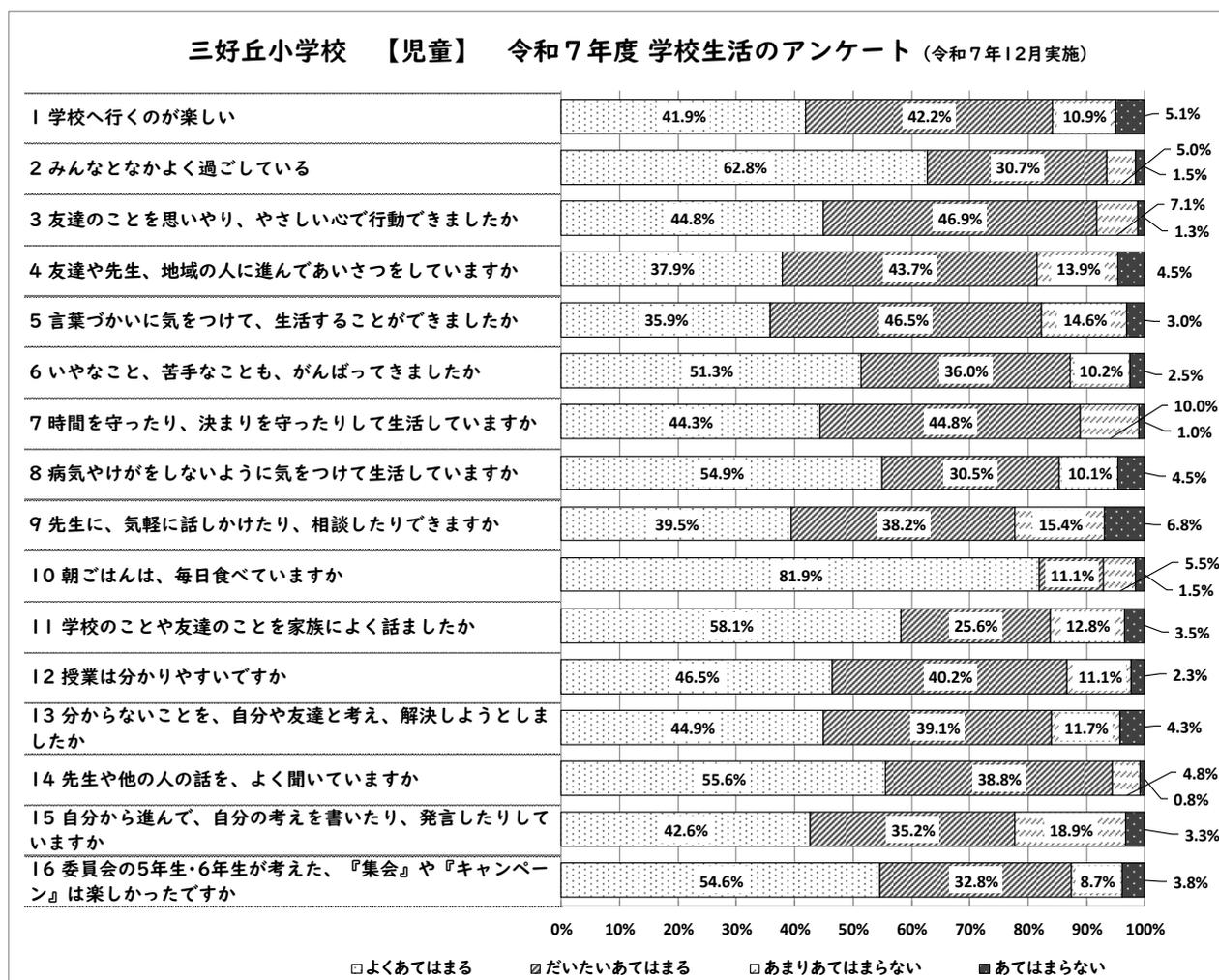
令和7年度学校評価アンケートの結果について（報告）

みよし市立三好丘小学校

日頃は、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

学校評価アンケートは、本校の教育活動を振り返り、子どもたちの学習活動や生活習慣など家庭・地域との連携を一層深め、子どもたちがより良い生活を送れるよう学校運営の改善と発展を目指すものです。下記のとおり、今年度の結果をお知らせいたします。今回の結果を踏まえ、職員一丸となって本校の教育目標をめざし、教育活動の充実に努めてまいります。ご意見・ご感想については、いつでも学校にお寄せください。今後ともご支援とご協力をお願いします。

1 児童自己評価アンケートより

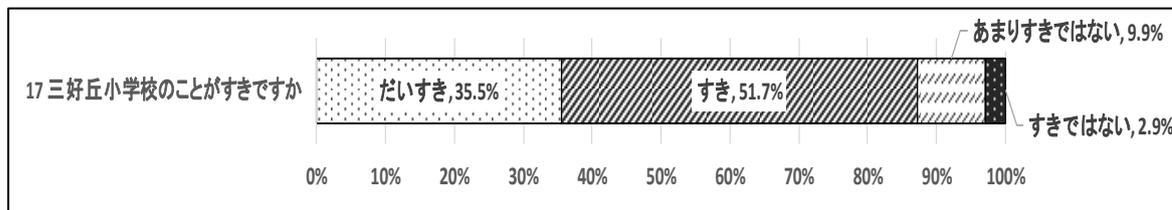


○「問1：学校は楽しい」が84.1%、「問2：みんなとなかよく過ごしている」では92.8%が、「問3：友達のことを思いやり、やさしい心で行動できた」では91.7%が、あてはまる・だいたいあてはまると答えています。

これらから、学校生活に満足している子が多くいると考えられます。

○「問16：委員会の5・6年生が考えた『集会』や『キャンペーン』は楽しかったですか」の問いに、87・4%の子があてはまると考えています。

今年度「学校が楽しい」を合言葉に、5・6年生が委員会活動の在り方を工夫し、縦割りでの異学年交流を取り入れた集会や、自分たちの生活をよくするキャンペーンに取り組んできました。新たな取り組みで5・6年生の活躍の場が増えています。

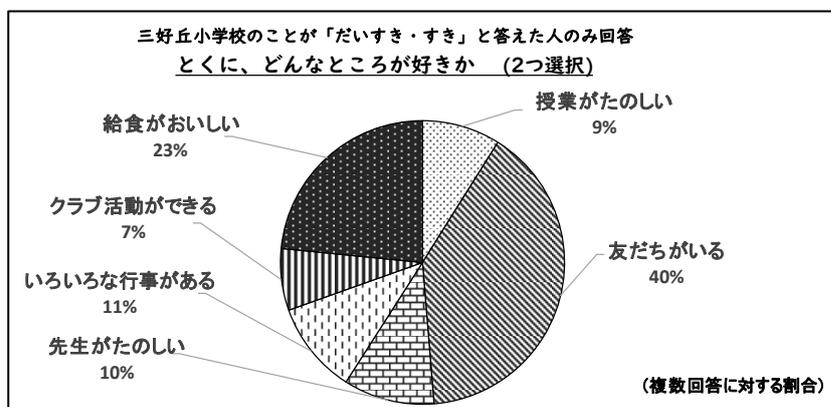


○「問17：三好丘小学校が好きですか」では87・2%の子が「だいすき・すき」と答えています。

○学校が好きな理由は、「友達がいる（40%）」と答えた子どもが一番多くいます。

子どもたちにとって友達との関わりがとても大切なことだと分かります。その一方で、友達との関わり方で悩む子もいます。

三好丘小学校が好きではない、あまり好きではないと答えた子にも目を向け、原因を探り、必要な支援をしていきます。



○学習面を見ると、「問12：授業は分かりやすい」が86・7%、「問13：分からないことを自分や友達と考え、解決しようとした」が84%、「問14：先生や他の人の話をよく聞いている」で94・4%の子があてはまると答えています。

学習に前向きに取り組む子が多いことがうかがわれます。分からないことを「ここが分からないんだけど」と、友達と一緒に考え合うことをどのクラスでも取り組んでいます。学校が好きな理由では、「授業がたのしい」は9%です。まだまだ改善の余地があります。今後も、子どもたちが、学ぶ楽しさ・学ぶ喜び・学ぶ大切さを味わえるよう自分たちで考え・解決する力をつけられるよう努めます。

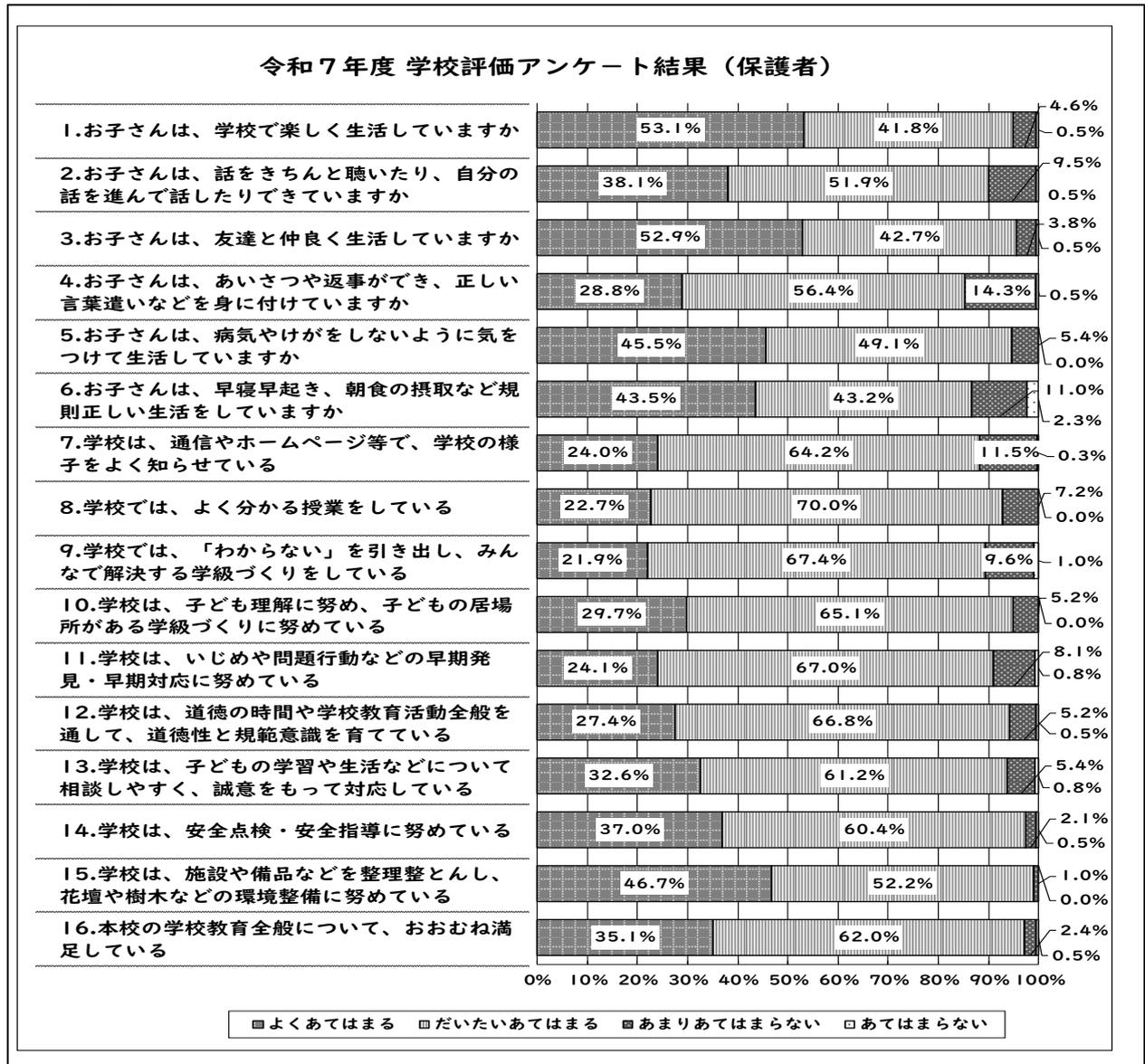
▽他の質問と比べ「よくあてはまる」や「あてはまる」と答えた方が少ない項目

「問9：先生に気軽に話しかけたり、相談したりできる」(77・7%)

「問15：自分から進んで自分の考えを書いたり、発言したりする」(77・8%)

一人一人の思いを大切に、聴き合い、考え合う中で、自らの思いを伝えることができる子どもを目指して、日々取り組んでいます。まだまだ十分ではありません。自分の思いを伝えることに自信をもてないでいる子もいます。発言だけでなく、タブレット端末を活用したりする中で、友達の考えを知り、自分と比べながら聞き、分からないことを考え合う中で、多様な考えを知ることができるように支援していきます。教職員に相談しやすい雰囲気、環境づくりにも一層努力いたします。

2 保護者アンケートより



○「問1：お子さんは学校で楽しく生活している」（94.9%）「問3：お子さんは友達となかよく生活している」（95.6%）

多くの方が、お子さんが良好な学校生活を送っていると感じられています。

○「問10：学校は子ども理解に努め、子どもの居場所がある授業づくりに努めている」（94.8%）、「問11：いじめや問題行動などの早期発見・早期対応に努めている」（91.1%）、「問12：学校は道徳性と規範意識を育てている」（94.2%）

今年度は、昨年度よりいじめアンケートの回数を増やし、いじめや問題行動などの早期発見・対応に心がけてきました。また、いじめの未然防止のために、道徳やの授業や朝の丘小タイムの時間に文部科学省の動画「ともだち関わりプログラム」の視聴やコミュニケーショントレーニングを取り入れてきました。十分成果が出ているとは言えませんが、子どもたちの困り感に寄り添えるよう、今後も一層努力してまいります。今後も保護者の皆様のご協力をいただきながら、学校が子どもたちにとって楽しみながら友達と磨き合える場所であること、一人一人の居場所のある学級づくり・学校づくりを目指して取り組んでまいります。

- 「問5：お子さんは病気やけがをしないように気をつけて生活している」（94.6%）、「問14：学校は、安全点検・安全指導に努めている」（97.4%）、「問15：学校は施設や備品などを整理整頓し、花壇や樹木などの環境整備にも努めている」（98.9%）

環境整備が充実できたのは、PTAの親子奉仕作業や地域のボランティア、いきいきクラブの方にもたくさん協力をいただいたおかげです。また、多くの方が、お子さんの様子から病気やけがに気をつけて生活をしていると感じられています。

▽改善していきたい項目

- 「問4：あいさつや返事ができ、正しい言葉遣いを身につけている」（85.2%）

生活習慣につきましては、概ね良好ですが、自分から進んであいさつができるように今以上に声をかけていき、挨拶・笑顔のあふれる三好丘小にしていきたいです。友達にかける言葉については、正しい言葉遣いで、自分が言われて嫌な言い方をしないことにも配慮できるよう、引き続き指導をしていきます。

○（自由記述）今後の三好丘小学校に、力を入れて取り組んでほしいこと

たくさん声を届けていただきました。主なものを紹介いたします。（別紙参照）

本校には外国籍の子もいます。いろいろな国籍の子と一緒に学ぶことができているのは本校の特色の一つです。違いを認めてみんなが笑顔になれる温かな学級、自分たちで分からないことや困ったことを解決する授業を目指してこれからも教員研修に努めます。

地域コーディネーターを通して、授業での講師やボランティアの方を紹介していただき、防災教育や多文化共生に取り組みました。いきいきクラブの方や地域の様々な方に学習や環境整備にご協力いただきました。地域に魅力的な「人・もの・こと」があることを子どもたちにもっと知らせていきたいです。

教科担任制の導入、個別支援の対応、ICTを活用した授業については昨年度以上に取り入れてきましたが、さらに充実を図り、より効果的になるよう工夫します。今後も家庭・地域と連携して、どの子どもも通いたくなる、通わせたいくなる、応援したくなる三好丘小学校になるよう、職員一同努力してまいります。これからもご理解・ご協力をお願いいたします。

「アンケートへのご協力ありがとうございました。」

保護者自由記述「今後の三好丘小学校に力を入れてほしいこと」

<学校行事、学校全体に関して>

- ・子どもたちの心の安定につながる取組を増やしてほしい。
- ・生活を共にする仲間たちと様々な経験を通じて人間性を育める場であってほしい。
- ・デジタル化が進み、関係が希薄。人との関わりによる温かさ、やさしさの大切さを伝えてほしい。
- ・1年と6年のペア活動がよい。継続してほしい。 ・縦割りでの異学年との関わりを増やしたい。
- ・大好きな友達、支えてくれる先生がいて、学校がとても楽しい場所になっている。
- ・もう少し個性や特技を発揮したり、適度な競い合いを経験したりできる機会があってもよい。
- ・多文化共生。国籍間の偏見をなくしたい。 ・日本人も外国人も平等な学校でありたい。
- ・男女隔てのない最新の性教育をしてほしい。
- ・以前に比べいじめが少なくなっている。早期に対応してもらっている。
- ・いじめ加害者の更生。被害児童の救済。
- ・デジタル化を進め、学年通信や回答の必要な文書は、絆ネットで配信してほしい。
- ・家庭訪問ではなく個別懇談や電話での相談にしてほしい。
- ・合唱祭、マラソン大会、運動会での徒競走をしてほしい。
- ・運動会の保護者参観場所が狭い。子ども同士が近い。もっと広がって演技してほしい。
- ・夏休みの出校日はなくしてほしい。(異様な暑さの中登校するのは心配)

<生徒指導について>

- ・自ら挨拶できるようにしたい。
- ・SNSの使い方。使用目的が理解できずに使っている子がいる。
- ・公園利用の仕方が最悪(歩道が自転車でふさがれる。小さい子がいるのに全面でサッカーをする)
- ・下校集会でグラウンドに座るのは止めたい。雨上がりに服が汚れる。
- ・夏はランドセルでなく、リュックにしてほしい。 ・水着の自由度を増やして
- ・体操服をシャージでも代替可能にしてほしい。

<学習面について>

- ・伸び伸びと楽しく学ぶことができるよう探求心が育つ教育
- ・話し合う授業だけでなく、学習知識習得にも力を入れて。 ・自分の意見を言える子を育てたい。
- ・学び合い、話し合い活動の際、どのように話せばよいか型から教えてもらいたい。
- ・校外学習、社会見学、体験学習の機会を増やしてほしい。ジブリパークへ。
- ・タブレット端末をもっと学習に取り入れてほしい。
- ・高学年の教科担任制をもっと進めたい
- ・道徳を重視した教育をより進めてほしい。
- ・勉強の内容と同時に学んだことが将来、何のためになるかも伝えてほしい。
- ・授業についていけない子への特別授業をしてほしい。
- ・農業体験や動物の飼育など自然と関わること、体を動かすことを増やしてほしい。
- ・外部から専門家の招聘。(経済、情報リテラシー、進路選択、性教育など)
- ・宿題を減らしてほしい。(感想文、作文、書初め)夏休みの課題が選択制になったものが増え、興味あることを追求する時間が取れた。
- ・宿題を増やしてほしい。学年に合う内容の宿題をもっと出して

<学級での対応の仕方、学級の問題に関わること>

- ・上学年になり、クラスの中で嫌がられている子が現れた場合、丁寧で細やかな対応をしてほしい。
- ・子どもの味方である先生でいてほしい。

<安全面、施設管理等について>

- ・防犯カメラの設置。街灯を増やす。防犯に力を入れてほしい。 ・感染症の流行状況を知らせてほしい

<市へ要望していくこと>

- ・部活動の復活。 ・夏休みのプール開放をしてほしい。
- ・子ども教室、放課後児童クラブの受け入れを増やしてほしい。